

海外安全対策情報（２０１９年１月～３月：コロンビア）

１ 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（１）全般

ボゴタ市，メデジン市，カリ市等の都市部を含め，窃盗・強盗の被害が昼夜を問わず多発している。

比較的治安が良い地域でも，飲食店内の置き引き，バイク利用強盗，夜間の路上強盗，警察官を偽装して金をだまし取る等，様々な手口の犯罪が見られる。

被害に遭わないためには，身の回りの物から目を離さない，怪しい人物に狙われていないか注意する等，常に警戒を怠らない心構えが必要である。

万が一，強盗に遭った場合は生命を第一に考え，絶対に抵抗してはいけない。

（２）邦人犯罪被害事案

- ・午後０時ころ，タイロナ国立自然公園内の散策路を一人で歩いていたところ，二人組の男に押し倒され，バッグを奪われた。

- ・午前３時ころ，ボゴタ市サンタ・バルバラ地区を知人と二人で歩いていたところ，対向車両が停車し，男４名が降車すると，ナイフを示して脅し，バッグを奪われた。

- ・クレジットカードの高額利用を知らせるメールを受信したことから，室内に保管していたクレジットカードを確認したところ，盗まれていることが発覚した。その新築マンションでは，入居の際に玄関の鍵を交換しなかった他の居住者も同様に，侵入形跡なく現金等を盗まれる空き巣被害に遭っており，さらに防犯カメラの録画機が動作しないよう細工されていたことが判明した。マンション関係者が関与するマスターキー，合い鍵を利用した空き巣の手口と思われる。

- ・ボゴタ市でトランスミレニオに乗車中，上着ポケットに入れていた小銭入れを盗まれた。

- ・エル・ドラド空港口ビーの椅子に座り，隣にリュックを置いていたところ，隣の女性から「Wifiの接続を手伝って欲しい」と声をかけられ手伝っていたところ，リュックが盗まれていた。

- ・午後９時３０分ころ，ナリーニョ県イピアレス市でセントロ付近のホテルに戻るため一人で歩いていたところ，後ろから男にバッグを奪われた。

２ テロ・爆弾事件発生状況・関連報道

ＥＬＮ，ＦＡＲＣ離反兵等の反政府武装組織の活動が活発な地域で，治安当局やインフラ施設に対するテロ事件が発生している。ボゴタ市では２０１７年６月，ショッピングセンター「アンディーノ」においてフランス人女性を含む３名が死亡する無差別テロ事件が発生しており，今後もテロへの警戒は必要である。

- ・１月１７日，ボゴタ市の警察学校内でＥＬＮによる自動車爆弾テロが発生し，学生２２名が死亡，負傷者６０名以上。

- ・ 2月18日、アラウカ県のベネズエラ国境にかかる国際橋において、警察官2名が銃撃され死亡。
- ・ 3月9日、ノルテ・デ・サントアンデール県ティブ市郊外に設置された地雷の爆発により兵士3名、市民2名が死亡。
- ・ 3月17日までに、ELNによるノルテ・デ・サントアンデール県とアラウカ県の石油パイプラインの爆破は13回。治安当局は約50の爆破計画を未然に防いだ。
- ・ 3月20日、ノルテ・デ・サントアンデール県エル・タラ市で爆弾攻撃を受け、軍兵士1名死亡。

3 誘拐・脅迫事件発生状況

ELN等の反政府武装組織や麻薬犯罪組織が、身代金目的の誘拐、恐喝、脅迫を行い、資金源としている。都市部では犯罪組織による偽装タクシーを使用した短時間誘拐の犯行もあることから、流しのタクシー（タクシーアプリ等で呼ぶ無線タクシーではない）は利用しない等の注意が必要である。

- ・ 1月11日、ノルテ・デ・サントアンデール県カタトゥンボ地区で現金輸送ヘリコプターがELNの襲撃に遭い、乗組員3名が誘拐され、2月3日に釈放された。